セキュリティ資格

おすすめ 15 選

15 資格の難易度・年収・ロードマップ

平均年収 610 万円・設計コンサル区分 889 万円。最短ルートを解説



どれから取ればいいでしゅ？

順番が重要だ。今すぐ整理する



【解説に入る前に】サービスのご紹介

セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

詳細を見る →

セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

詳細を見る →

**どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。**

© 2026 スプラッシュエンジニアリング

セキュリティ人材の需要と市場価値

人材不足の深刻さ

2030 年に 79 万人不足。企業 90% が深刻と回答



年収格差の実態

平均 610 万円。設計・コンサル区分は 889 万円

需要の核心

需給ギャップが大きいほど有資格者の市場価値は上がる。今が取得の好機

資格取得がキャリアにもたらす３つのメリット

スキルの客観的証明

目に見えない知識を示すエビデンス。採用・評価で即効力

転職・独立で有利

書類選考通過率が向上。公開案件 118 件中 102 件が資格を明記

体系的な学習指針

試験範囲に沿った学習でセキュリティの知識を効率よく習得

３つは相互に補完し合う。資格が「キャリアの武器」として機能する



セキュリティ資格の 3 カテゴリ分類

1

国家資格

IPA 認定。受験料 7,500 円と低コスト。国内転職で高い信頼性（ SG ・ SC ）

2

国際資格

グローバルに通用。外資・フリーランス市場で評価（ CISSP ・ OSCP 等）

3

クラウド・ベンダー資格

AWS ・ Azure ・ GCP 環境特化。クラウドシフトで需要急増

活動フィールドに合わせて選べ



国家資格

1. **情報セキュリティ SG**
   難易度★ 1 ・合格率 70% ・学習 100 時間。入門に最適
2. **情報処理安全 SC**
   難易度★ 4 ・合格率 20% ・学習 100 ～ 200 時間。国内最高評価

まずは SG から始めるでしゅ！



国際資格

1. **CISSP**
   管理系最高峰・実務 5 年必須・記載求人の中央値 650 万
2. **OSCP**
   攻撃系最高峰・実技 23 時間 45 分・手動での攻略力を証明
3. **CEH**
   ペンテスト入門・ EC-Council 認定・中級向け
4. **CySA+**
   防御・脅威分析特化・ CompTIA 認定
5. **Security+**
   入門資格・ CompTIA 認定・独学で十分対応可
6. **CISM**
   管理職向け・ ISACA 認定・経営層からの評価高
7. **CCSP**
   クラウドセキュリティ特化・ ISC2 認定
8. **PenTest+**
   ペンテスト実践・ CySA+ の上位に位置づけ
9. **CASP+**
   CompTIA 最上位・上級エンジニア向け
10. **GPEN （GIAC）**
    実践的ペンテスト・ GIAC 認定の高評価資格

クラウド・ベンダー資格

1. **AWS Security**
   AWS 環境特化・クラウドシフトで需要急増中
2. **Azure AZ-500**
   Microsoft 環境特化・ AZ-500 試験
3. **GCP セキュリティ**
   GCP 環境・ Professional 認定資格

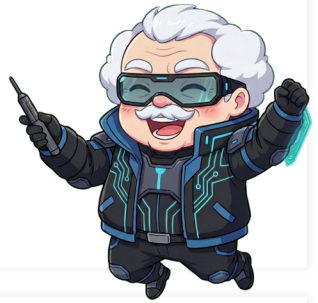
クラウド需要、すごいでしゅね！



国際資格の双璧： CISSP と OSCP

CISSP （管理系最高峰）

実務 5 年以上必須。受験料 749 ドル。 CISSP 記載の求人は中央値 650 万円



OSCP （技術系最高峰）

23 時間 45 分の実技試験。手動での脆弱性発見・検証力を証明

選択の軸

管理職志向なら CISSP 、ペンテスト特化なら OSCP 。目指す役割で選ぶ

CISSP と登録セキスペ どちらを先に取るか

登録セキスペ（SC）

国内活躍を優先

・国家資格・ IPA 認定の信頼性
・受験料 7,500 円と低コスト
・日系企業で即評価される
・ SC の知識が CISSP 学習の土台

VS

CISSP

グローバル・独立を優先

・ ISC2 国際認定・世界標準
・外資系・海外案件で共通言語
・フリーランス単価 90 ～ 150 万円
・維持費は年 135 ドル＋ CPE



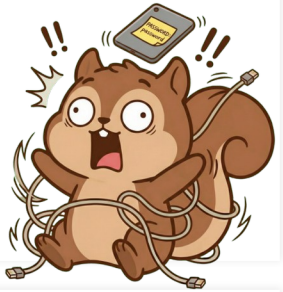
推奨順序

SC→CISSP の順が効率的。 SC が CISSP 対策の土台になる

難易度別ランキング早見表

初心者★1～2

SG ・ Security+ が入口。実務経験なしでも挑戦できる



中級★3

CEH ・ CySA+ ・クラウド資格。実務 2～5 年向け

攻略の鉄則

★1～2 で土台を固め、 3 年後に★4～5 を狙う段階的戦略が現実的

資格が年収・フリーランス単価に与えるインパクト

正社員の年収レンジ

公的統計（その他の情報処理・通信技術者）
約 610 万円

登録セキスペ記載の求人 14 件
中央値 650 万円（450 ～ 1,100 万円）

CISSP 記載の求人 13 件
中央値 650 万円（450 ～ 1,100 万円）

102/118 件が資格を明記



フリーランス月単価（自社公開 118 件）

セキュリティ案件全体
中央値 92.5 万円（50 ～ 180 万円）

セキュリティコンサルティング
中央値 120 万円（100 ～ 180 万円）

要件定義など上流工程
中央値 115 万円（70 ～ 180 万円）

キャリアステージ別ロードマップ

1

未経験〜３年目

SG→Security+→SC 。基礎固めと転職で評価される最低ラインを確立

2

中堅３〜７年目

攻撃（CEH→OSCP） / 防御（SC→CySA+） / 管理（SC→CISM）で分岐

3

ベテラン８年目〜

CISSP+ クラウド資格 or CISSP+CISM で市場価値を最大化。上流・コンサル案件へ

土台がしっかりすれば上位も手が届く



国家資格と国際資格の勉強法の違い

国家資格（SG ・ SC）

過去問中心戦略

・過去問道場で 3 ～ 5 周（無料）
・ SG は 100 時間・ SC は 100 ～ 200 時間
・ SC 午後は記述対策が必須
・午前 I 免除制度を活用する

VS

国際資格（CISSP 等）

実務連動学習

・模擬試験 3 回連続合格から受験
・ CISSP は日本語試験あり
・ Security+ は独学で十分対応可
・ OSCP は PEN-200 コース必須



学習の鉄則

業務と試験範囲を結びつける学習が合格への最短ルート

資格を「稼ぐ力」に変えるキャリア戦略



転職市場での活かし方

資格名・取得年月・業務活用実績を職歴書に定量記載



フリーランスへの道

コンサル案件は中央値 120 万円。資格は応募できる案件を広げる



資格の本質

取得はゴールではなくスタート。実務活用と継続学習が年収を伸ばす原動力

まとめ

15 資格を国家・国際・ベンダーで分類。活動フィールドに合わせて 2 〜 3 個を戦略的に選ぶ

CISSP 記載の公開求人は中央値 650 万円。公開案件 118 件中 102 件が資格を条件・歓迎に明記

未経験は SG→Security+ から。段階を踏み 3 年後に上位資格を狙うロードマップが王道

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

セキュリティプロ・フリーランス ＞

セキュリティプロ・テンショク ＞

